

# 第29回 岡山戦災の記録と写真展

開館時間 午前10時～午後8時(入館は午後7時半まで)  
休館日 毎週 月曜日  
会場 岡山市デジタルミュージアム4階 企画展示室  
入場料 無 料  
主催 岡山市・岡山市デジタルミュージアム  
共催 岡山市教育委員会



## 第29回 岡山戦災の記録と写真展記念講演会 おかやまの昭和20年

6月11日(日) 会場 岡山市デジタルミュージアム4階 講義室

13:00～「私の空襲体験」空襲体験者 曾和 敏明 氏

13:40～「進駐軍司令官が見た岡山」山陽放送 放送ライブラリーセンター専門部長 小松原 貢 氏

14:40～「考古学からみた人類と戦争 平和への展望」岡山大学文学部助教授 松木 武彦 氏

平成18年 6月2日(金)～7月2日(日)



岡山市デジタルミュージアム 岡山市駅元町15-1 リットシティビル4・5階 TEL 086-898-3000 FAX 086-898-3003  
URL <http://www.okayama-digital-museum.jp/>

昭和20(1945)年6月29日、岡山の市街地は米軍による大規模な空襲を受けました。岡山市では毎年6月29日の「岡山平和の日」を中心に戦災に関する展示を行っており、今回で29回目となります。焼夷弾や猛火によって焼け焦げた茶碗といった実物資料と、被災直後の市街地の写真などで岡山空襲をご紹介します。市民の皆様が平和について考えていただく一助となれば幸いです。

## 第29回 岡山戦災の記録と写真展記念講演会 おかやまの昭和20年

昭和19年から20年にかけて、日本全土において市街地を対象とした大規模な空襲が米軍によって行われました。岡山空襲では、市街地の住宅の約63%を失い、死者1737人(\*)とも言われる犠牲者が出ました。この戦災はどのようにして、何故起こったのか、そして岡山がいかに復興していったのでしょうか。平和への願いを込めた講演会です。

(\*)死者数については『岡山市町別戦災調査資料綴』中のメモ(1949 岡山市立図書館所蔵)を根拠としていますが、正確な犠牲者数は不明であり、最近の研究によると2000人をこえるという説もあります。

6月11日(日) 13:00～ 岡山市デジタルミュージアム4階講義室

空襲体験者 曾和 敏明 氏

「私の空襲体験」

昭和20年6月29日の岡山空襲の際には、曾和さんは10歳で岡山市立三勲小学校の五年生でした。

しかし60年以上経過した現在でも6月29日の空襲時のことは鮮明に記憶に残っているそうです。戦争を知らない人々に空襲ということがどういうことであるか、ご自身の体験を語っていただきます。

山陽放送 放送ライブラリーセンター

専門部長 小松原 貢 氏

「進駐軍司令官が見た岡山」

昭和20年から昭和22年まで、進駐軍の岡山軍政部初代軍政部長として岡山に滞在したホイットニー少佐の撮影したフィルムには、終戦後間もない焼け野原の岡山、復興にいそしむ人々、当時の岡山の風俗などが記録されています。

岡山の戦災と復興がどのようなものであったか、この貴重なフィルムを通して紹介いただきます。

岡山大学文学部助教授 松木 武彦 氏

「考古学から見た人類と戦争 - 平和への展望 - 」

松木さんの近年の研究では、膨大な戦争や武器に関する考古資料や情報から戦争が成立するメカニズムを考古学的手法で考察することが大きなテーマとなっています。岡山空襲は太平洋戦争の中で起こったことでした。今回の講演では、人類は何故戦争を始めたのか、日本列島における「戦争」の始まりを歴史的に考察することによって、「戦争」に対する意識の形成過程を歴史的に考察することで見えてくると思われ

ます。

\* 事前予約は必要ありませんが、定員80名をこえた場合、入場をお断りさせていただきます場合があります。